

城山湖ヒルクライムアタックめたつご山ステージ

競技ルールと車両規定

Ver. 3

自転車のレースはUCI（国際自転車競技連合）及びJCF（日本自転車競技連盟）に沿って行われますが、当ヒルクライムレースは、いくつかの特別ルールに沿って開催をしますので、参加にあたり皆さまご一読の上、エントリーをお願いします。

■JCFライセンス

当レースは、JCF公式レースではなく市民レースのためライセンスを必要としません。基本的に経験の浅い未登録（自転車競技連盟）の選手を対象としてレース開催を企画しています。

とはいえ登録・未登録に関わらず、自転車レース愛好者ならば誰でも参加できます。

■カテゴリー

本来は開催の募集時にクラスを選んでエントリーを行うべきとは思いますが、今回は第一回の開催のため、募集人数がそろった中で、年齢、および性別をもととして5クラス程度に分けることとします。

この結果をもとに次回からは募集時にクラス選択ができるように取り組むので、なにとぞご了承ください。なおクラス分けを行った後の、個別のクラス変更は生年月日の誤り以外は、参加者からの申し出は受け付けないこととします。競技公平の意図から、何卒宜しくお願い致します。

■競技者の装備

レースに参加する選手は、見苦しくなく他者に危害を与えない、レースに適したウェアを着用してください。登録クラブのチームジャージのある選手は、そのジャージをできるだけ着用して下さい。またヘルメット・手袋は、レース以外（試走中など）でも着用してください。眼鏡以外のガラス製品は携帯できません。ポンプ・スペアタイヤ及びボトルの携行はできますが、脱落しないように固定してください。基本的にはレースに必要な装備以外は、携行を認めません。またパンクなどのメカトラブルの際、自身の装備からの修理は認めますが、チームメイトや観客からの機材借用はトラブルのもととなるため認めません。今回は再度の走行（おかわり）を予定していますのでやり直し走行を推奨します。（レース進行等によりおかわりができない場合もあります。予めご了承ください。）

また下山する必要があるため、軽量な自転車で10%の下りに耐えられないようなものは不可とします

■撮影

車体に取り付けるカメラなどの撮影機材と撮影は、安全とプライバシーに節度を持って行い、あくまでも走行状態を撮影するものとします。また、第三者の顔が認識できる状態が写り込んだ映像・写真・画像を公開する場合は、その方の同意を取ってください。なお、本件に関してのトラブルについては、主催者等は一切関与いたしません。

以下は禁止事項とします。

- むやみに他人を撮影する行為
- 赤外線カメラ等の使用
- 隠し撮り等法令により禁止されている行為をすること。
- 同意を得ずに第三者が写り込んだ映像・写真・画像をWEB等で公開する行為。

■自転車

車検や整備用のメカニックサービスは用意しませんので、各自で完全に整備された自転車、予備機材、タイヤチューブ等を用意してください。また計測チップによりタイム計測を行うため、計測チップ、ゼッケンは所定の位置に取り付けてください。

自転車は、基本的にUCI（世界自転車競技連盟）規定に則した自転車を使用してください。（以下に内容を抜粋します）

空気抵抗を減じたり他者に危害を与えるような装置が付いていない、2個のブレーキとフリーのついた、人力だけで動く自転車（アシスト付き自転車は不可）ならば可ですが、必ず各自で完全に整備した自転車でお出場でください。（固定ギヤ、前輪のみのブレーキは不可です）

ハンドルについては、タイムトライアル種目用のDHバーなどは不可です

一般的なドロップ又はフラットハンドルのみ可で、フラットハンドルにおける通常のバーエンドアダプター以外、アタッチメント等の使用は出来ません。

なお上記以外でも、著しく走行に問題ありと判断される場合は出走を許可しない場合もあります

■受付

レース参加の際は、選手本人が受付でサインシートにサインをして受付（チームメイト一括での受け取り不可）し、ゼッケン・計測チップ等を受け取ってください。このサインは出走の意思と、競技の注意事項への同意のサインを兼ねますので、受付横の大会競技への注意事項を参照の上、サインをしてください。

サインのない選手の記録は降格扱いとなる場合がありますので、サインを忘れないよう

にしてください。

■走行中の安全のために

規制中の公道のレースであってもレース中、特にゴール前後の斜行、接触による落車を防ぐため、まっすぐと走る意識を持ってください。また追い抜きの場合も可能であれば声掛けをして右から追い抜きをかけるように、レース中も他の競技者を意識するようにしましょう。また緊急車両が（救急車など）やむを得ずコースに入ることがあります。その場合も左により右からの追い抜きに備えてください。

■コース内に歩行者がいます

コース内は車両（自動車及び原動機付自転車を含む二輪車）の通行を規制していますが、歩行者の通行は禁止できません。コース内上り下りとも、下り車線左側を歩行者が歩くまたは留まっているので、注意してください。近くを走行する場合は、歩行者がよろける場合も想定し、十分な距離を確保し通過してください。

■応援・観戦のためのコース内立ち入りについて

大会参加者およびその関係者・同行者は、応援・観戦のためにコース内へ立ち入る場合は、次の箇所に限定していただきます。その他への立ち入りはできません。

- ・発電施設内歩行者通行部分（白線及びパイロンで明示されている部分）

■ゴール時の安全のために

ゴール時も手放しをすることなく（ゴール後すぐに左に曲がります）そのまましっかりハンドルをもってゴールしてください。片手離しなどを含め、違反行為があった場合、安全確保に問題がなかった場合であっても、審判の判断によりペナルティーを課すことがあります。

■補給

補給は基本的に、100キロを越えるレースにおいて認めます。それ以外は天候などによって特別に許可しない限り、選手自身が携行しているものだけとなります。補給の際は選手が自ら集団から離れ、走路の端に寄り補給を取ることとします。サポーターが明らかに走路に出て補給をおこなった場合、ペナルティーの対象となります。

■着順及び記録

記録タイムは、計測チップを使用して計測しますが、それでも同タイムの場合、下記の順とします

- ・走行回数が少ないもの
- ・年齢が上のもの

- ・記録を出したゴール時間が早いもの

終了後速やかに発表しますので、間違いなど有る場合はレース後速やかに申し出て下さい。当日中に限り、調査の上回答し、必要であればHPにて訂正いたします

■特別ルール

本大会では「おかわりチャレンジ」（再計測走行）を行うことを予定しています。

おかわりチャレンジが実施可能なレース進行となった場合は、当日アナウンスを行います。その際は以下の要領によるものとします。

- ・ 11時30分までに第一回のレースが終わった方は、計測ゴール地点での「おかわりサインシート」にサインの上、先導ライダーにそって下山して、再度タイムアタックをすることが出来ます。
- ・ なお、スタートラインのアンテナを通過する前に停止して、計測スタッフがアンテナを一時的に外したのちに、アンテナを通過してください。

変更10月31日付け

■タイム記録について

第1回大会ではコース内にアンテナを設置することができないため、計測チップによる計測は行いません。ウェーブスタートとストップウォッチにて計測し記録タイムとします。スタート地点とゴール地点の時計は電波時計によりシンクロします。なお、記録タイムは大会実行委員会が公認し記録証を交付します。